

第1章

第4節 野々市市を取り巻く社会動向

我が国では、ライフスタイルの多様化などを背景として出生率が低下し、子どもの数が減ることで、高齢者の人口割合が増加しています。

平成22年国勢調査の結果では、日本の総人口は平成17年から平成22年の間は、ほぼ横ばいとなっていますが、少子高齢化は確実に進行しており、将来的には人口減少社会の到来が予測されます。

経済のグローバル化^{*}や高度情報化^{*}の急速な進展、また、地球規模での環境問題が顕在化するなど、私たちの社会や生活のあり方が、世界の動向に密接に関わってきています。

かつての我が国は、“モノの豊かさ”を追求することで急速な経済成長を遂げてきましたが、近年では生活の質やゆとり、精神的な満足感など“心の豊かさ”が重視されてきています。

地方分権^{*}時代において、地域の人々の積極的な公共サービスへの参画により、特色ある自立^{*}型地域づくりを進める時代が到来したといえます。

1 安全安心な暮らしの確保に対する意識の高まり

- 災害に強いまちづくり
- 犯罪対策の強化
- 円滑な移動環境の確保
- 健康面での安全性の向上

2 地球規模での環境問題・経済問題の深刻化

- 低炭素社会^{*}や循環型社会^{*}の構築
- 地域経済の強化
- 経済のグローバル化への対応

3 少子高齢化の進行と人口減少時代の到来

- 子どもを安心して育てられる環境づくり
- 高齢者や障害のある方が安心して暮らせる環境づくり

4 価値観やライフスタイルの多様化

- 郷土への誇りや愛着を深める社会づくり
- 交流を通じて相互の理解を深める人づくり

5 地方分権社会の進展と“協働”型社会への転換

- 自己決定や自己責任に基づく魅力ある地域づくり
- 効率的で健全な行財政運営
- 市民参加による自立型地域づくり

Photograph まちの風景



野々市市から白山を望む



高尾城跡航空写真



末松庵寺跡

せせらぎ公園



文化会館フォルテ



富樫家団像



野々市じょんから踊り



御経塚遺跡航空写真